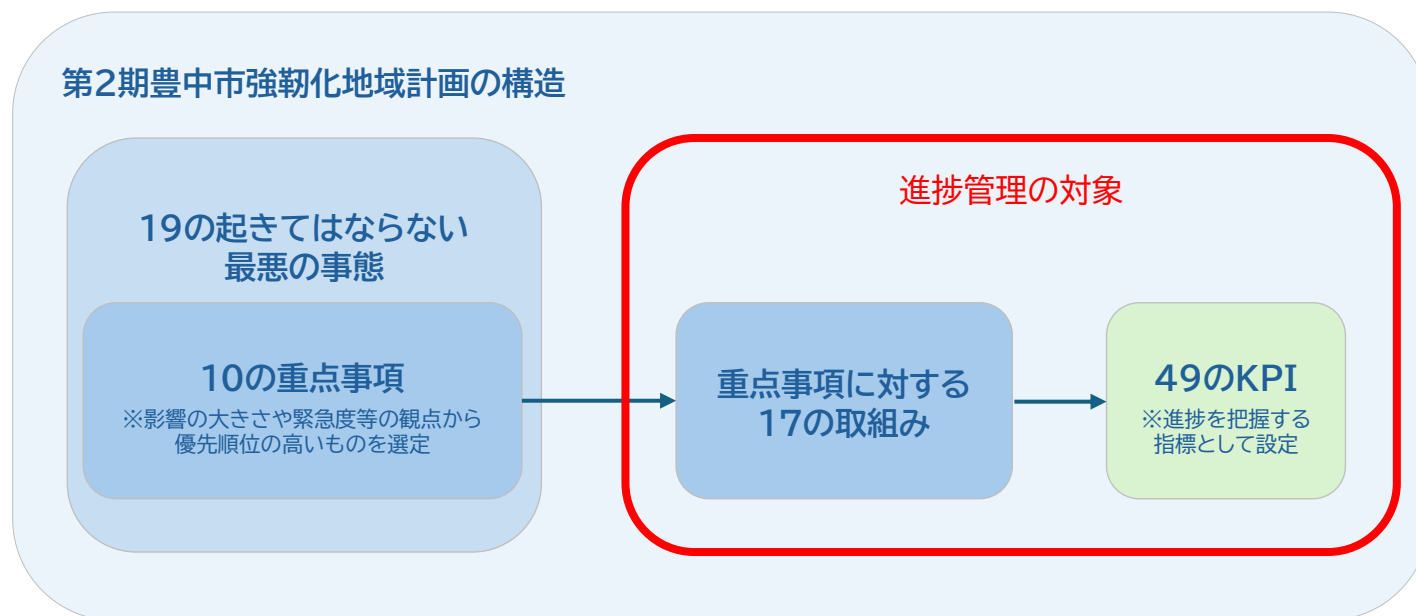


第2期豊中市強靱化地域計画の進捗状況 (令和7年度実績)

令和8年(2026年)8月
豊中市

1. 計画の進捗管理について

- 第2期豊中市強靱化地域計画は、市の強靱化推進にあたり、中長期的な視点で取り組むべき施策の方向性を明らかにするため、策定したものです。第4次豊中市総合計画後期計画との整合を図り、令和7年度から令和9年度までの3年間の計画期間としています。
- 豊中市の強靱化を総合的、計画的に進めるため、進捗状況等を毎年度、定期的に把握、検証し、必要に応じて見直しを行うなど、PDCAサイクルを繰り返して、取組みを推進します。
- 本計画では、本市における19の「起きてはならない最悪の事態」を設定しています。そのうち10項目を、影響の大きさと緊急度等の観点から重点事項として選定しています。その重点事項に対して取り組むべき17項目を「重点事項に対する取組み」として設定し、進捗状況を定量的・定性的に把握・評価して、計画の進捗管理を行います。



2. 令和7年度の進捗状況について

○進捗状況の評価について

- ・17の「重点事項に対する取組み」について、49のK P I の進捗状況の評価は以下のとおりです。
- ・約4割の取組みにおいて目標を達成しています。
- ・個別の取組みの進捗状況については、次ページ以降に記載しています。

	達成 【○】	上向き 【↗】	横ばい 【→】	下向き 【↘】
指標数	19	12	12	5
割合	40%	25%	25%	10%

<指標の推移の定義>

- 【 達成 】 令和7年度に目標を達成した指標
- 【上向き (↗)】 目標達成はしていないが、昨年度よりも上昇傾向の指標
- 【横ばい (→)】 昨年度と達成度が変わらなかったもの
- 【下向き (↘)】 昨年度と比較して達成度が下降した指標

※評価時点で実績値の把握ができない指標については、「評価なし」としています。

3. 取組みごとの進捗状況について

【取組み1】防災知識の普及

KPI	当初値		目標		令和6年度	令和7年度	
	数値等	年度	数値等	年度	数値等	数値等	指標達成/傾向
防災出前講座の実施回数	17回/年	R5年度	毎年度増加	R9年度	28回/年	54回	○
学生への出前講座等の実施回数	3回/年	R5年度	毎年度増加	R9年度	2回/年	2回/年	→
民間企業への出前講座の回数	3回/年	R5年度	毎年度増加	R9年度	4回	2回	↘
マイ・タイムライン作成件数	476件	R5年度	毎年度増加	R9年度	349件	456件	↗
救命講習受講者数	20,291人	R5年度	20,000人/年	R9年度	21,552人	21,924人	○
ジュニア救命講習実施校数	27校/41校	R5年度	市内全校実施	R9年度	36校/40校	36校/40校	→

○進捗状況について

- 市職員による出前講座（25回）に加え、とよなか防災アドバイザー派遣を促進し、防災知識の普及に取り組みました。
- 市立学校の生徒を対象に出前講座を実施するとともに、避難所開設や備蓄物資の確認に関する出前講座を実施しました。また、民間企業・団体に対して災害想定や避難所開設に関する出前講座を実施し、80名が参加しました。さらに、マイ・タイムライン作成支援ツールを活用してマイ・タイムラインの作成を促進しました。
- 市内在住・在勤者や事業所、学校・保育所関係者及び市内小学校5・6年生を対象に救命講習を実施しました。

○今後の取組みについて

- 出前講座やとよなか防災アドバイザー派遣を通じて市民の防災意識の向上を図るため、より市民のニーズに沿った講座の実施に取り組みます。
- 市立学校における防災教育の充実に向けて、学校間で取組みに差が生じないように、引き続き啓発を行います。また、民間企業・団体に対しては、事業継続計画（BCP）に役立つ情報提供や地域貢献につながる取組みを促進します。出前講座や防災訓練等の機会を活用し、引き続きマイ・タイムラインの作成の促進と周知啓発を行います。
- 今後も世代に応じた救命講習を実施するとともに、市内全小学校での実施に向けて取り組みます。

【取組み2】自主防災活動の充実・強化

KPI	当初値		目標		令和6年度	令和7年度	
	数値等	年度	数値等	年度	数値等	数値等	指標達成/ 傾向
校区単位自主防災組織の組織率	75.6% (31校区)	R5年度	85.3% (35校区)	R9年度	78% (32校区)	78% (32校区)	→
とよなか防災アドバイザー派遣回数	30回/年	R5年度	毎年度増加	R9年度	36回/年	29回/年	↘
市内事業者のBCP策定率	18.3%	R5年度	20%以上	R9年度	15.30%	17.58%	↗
市内全自主防災組織への訓練指導の実施率	訓練実施率 60.5%	R5年度	訓練実施率 60%以上	R9年度	訓練実施率 63.1%	訓練実施率 58%	↘

○進捗状況について

- ・ 校区単位自主防災組織の未結成校区に対し、啓発チラシの配布や防災出前講座、とよなか防災アドバイザー派遣制度等を通じて、組織の結成や、自主防災活動の活性化に向けた啓発を行いました。
- ・ 市民の防災力の向上を図るため、とよなか防災アドバイザーを29回派遣し、防災対策に関する講義や助言を行いました。
- ・ 市内事業者の事業継続計画（BCP）策定を促進するため、商工会議所と連携したセミナー及びとよなか起業・チャレンジセンターでのセミナーを、それぞれ1回実施しました。
- ・ 各消防署による合同訓練の開催など、自主防災組織への訓練指導を行い、市内全自主防災組織の訓練実施率は58%となり、回数としては155回（前年度比5回増）となりました。

○今後の取組みについて

- ・ 校区単位自主防災組織の未結成校区に対して、防災出前講座等の機会を通じて、地域一丸となって自主防災活動に取り組む必要性を周知し、組織の結成を促します。
- ・ とよなか防災アドバイザーの派遣等を通じて、自主防災活動の活性化を図るとともに、学生をはじめとする幅広い世代の防災への関心を高めます。
- ・ 商工会議所等の関係機関と連携し、セミナーや情報提供を行うことで、市内事業者のBCP策定を促す取組みを強化します。
- ・ 全校区での訓練実施をめざすとともに、消防団と連携して、耐震性貯水槽を設置している公園における可搬動力ポンプを用いた初期消火訓練の実施を進めます。

【取組み3】防災訓練

KPI	当初値		目標		令和6年度	令和7年度	
	数値等	年度	数値等	年度	数値等	数値等	指標達成 /傾向
災害時帰宅困難者体験訓練参加者数	346人	R5年度	700人	R9年度	518人	707人	○
神崎川流域合同防災訓練参加者数	441人	R5年度	毎年度増加	R9年度	約400人	1,000人	○
市内の事業所への防災訓練会の実施数	41事業所	R5年度	50事業所	R9年度	78事業所	70事業所	○

○進捗状況について

- ・ 災害時帰宅困難者体験訓練実行委員会が主催し、訓練を実施しました。近隣企業に協力・協賛を依頼し、従業員の防災意識の向上を図るとともに、新大阪駅に受付ポイントを設置するなど、実施範囲を拡大しました。
- ・ 豊中市及び大阪市淀川区の神崎川流域木造密集地域において、自主防災組織間の交流を深め、相互の地域防災力の向上を図るため、実行委員会主催の合同防災訓練を実施しました。
- ・ 市内事業所を対象とした防災研修会を年3回開催し、70事業所が参加しました。

○今後の取組みについて

- ・ 災害時帰宅困難者体験訓練については、市民や民間企業等の参加・協力を募り、訓練を通じて災害時に備えた取組みを推進します。また、公共交通機関の運行停止時における帰宅等困難者への対応として、公共施設を一時滞在施設として開放する場合の対応方針を整理します。
- ・ 神崎川流域合同防災訓練をはじめとして、各種訓練に対する市民一人ひとりの参加意欲が高まるよう、周知・啓発を進めます。
- ・ 事業所向け防災研修では、防災訓練ハンドブック等を訓練指導に活用し、消防防災協力事業所の自主救護に関する知識・技術の向上を図ります。

【取組み4】防災空間の整備・充実

KPI	当初値		目標		令和6年度	令和7年度	
	数値等	年度	数値等	年度	数値等	数値等	指標達成/ 傾向
備蓄倉庫数	60箇所	R5年度	毎年度1か所	R9年度	61箇所	66箇所	○
都市計画道路の整備延長：78.3km (大阪府事業含む)	完成延長 68.8km	R5年度	完成延長 70.1km	R9年度	完成延長 68.9km	完成延長 69.2km	↗
放置禁止区域内における放置自転車等の台数	283台	R5年度	毎年度減少	R9年度	228台	298台	↘
生活関連経路の整備地区	完成地区 0地区	R5年度	完成地区 2地区	R9年度	0地区	0地区	→

○進捗状況について

- ・ 走井緩衝緑地帯に備蓄倉庫を設置するとともに、豊中ローズ球場など、新たに5か所の備蓄スペースを確保しました。
- ・ 都市計画道路は、服部利倉線のうち、服部天神駅前広場40mの整備が完了するほか、千里園熊野田線における用地取得に取り組みました。
- ・ 緑地公園駅周辺は、放置禁止区域を拡大するとともに、関係機関と連携して駐輪場を新設し、駐輪環境改善を進めました。
- ・ 緑地公園駅、蛍池・大阪空港駅、豊中駅、岡町駅、曽根・服部天神駅の5地区について、生活関連経路の整備計画を策定しました。

○今後の取組みについて

- ・ 備蓄物資の保管スペースの占有率が非常に高く、新たな備蓄物資の保管場所が限られていることから、移動式コンテナの活用など新たな方法も含め、必要な物資を確実に保管・管理できるスペースの確保を進めます。
- ・ 都市計画道路は、令和8年度（2026年度）中に三国塚口線約1kmの供用開始及び曽根島江線約0.1kmの完成を予定しています。また、令和9年度（2027年度）中に千里園熊野田線約0.2kmの事業認可申請を行う予定です。
- ・ 放置自転車等の台数が増加傾向にあることから、関係機関と連携し、啓発や撤去活動の強化を図ります。また、桃山台駅周辺の駐輪環境改善に向けて、関係機関との協議を進めます。
- ・ 生活関連経路は、令和8年度（2026年度）に新たに市内4地区の整備計画を策定するとともに、過年度に計画を策定した地区の詳細設計を行います。令和9年度（2027年度）には、令和8年度（2026年度）に計画を策定した地区の詳細設計を行うとともに、詳細設計が完了した地区から順次整備工事を進めます。

【取組み 5】建築物の安全対策

KPI	当初値		目標		令和6年度	令和7年度	
	数値等	年度	数値等	年度	数値等	数値等	指標達成/傾向
住宅の耐震化率	91%	R2年度	95%	R7年度	— (未実施)	集計中 (令和9年3月確定 予定)	評価なし
不良度が高い空き家の件数	79件	R4年度	毎年度減少	R9年度	54件	51件	○
非構造部材の中でも、建築基準法施行令の改正により脱落防止対策が義務付けられた、特定天井に該当するものについての耐震化の実施	5/8施設	R5年度	8/8施設	R9年度	施工：6/8施設 (設計：6施設)	施工：6/8施設 (設計：7施設)	↗

○進捗状況について

- 耐震改修等への補助や耐震化の啓発を行い、住宅・建築物安全ストック形成事業を推進しました。
- 関係部局と情報共有し、連携を図りながら、法による管理不全空家等への指導・勧告を行うなど、放置空き家等の改善・解消に取り組みました。不良度が高い空き家の件数は、当初の79件から51件に減少しました。
- 豊中市立豊島温水プールの特定期間について、耐震化工事の設計を行いました。これにより、設計は8施設中7施設、施工は6施設進みました。

○今後の取組みについて

- 住宅の耐震化は、所有者の判断や経済的負担に左右されることから、計画的に住宅の耐震化を進めることは困難ですが、引き続き耐震化に関する啓発や補助制度の周知を行い、住宅・建築物安全ストック形成事業を推進します。
- 関係部局と情報共有・連携を継続し、管理不全空家等の措置などを含め、放置空き家等の改善、解消に取り組みます。また、物件ごとの課題や問題点を整理し実効性のある取組みを進めます。
- 特定天井については、令和9年度（2027年度）までに対象と施設すべての耐震化を完了できるよう、引き続き計画的に設計及び工事を進めます。

【取組み6】都市基盤施設整備の推進

KPI	当初値		目標		令和6年度	令和7年度	
	数値等	年度	数値等	年度	数値等	数値等	指標達成/ 傾向
【再掲】都市計画道路の整備延長：78.3km (大阪府事業含む)	完成延長 68.8km	R5年度	完成延長 70.1km	R9年度	完成延長 68.9km	完成延長 69.2km	↗
大阪府密集市街地整備方針（令和3年（2021年）3月策定）に基づき、平成24年（2012年）に国が公表した「地震時等に著しく危険な密集市街地」を含む評価範囲における想定平均焼失率が23%以上の地区数	6地区	R5年度	2地区	R9年度	5地区	5地区	→
耐震性貯水槽の設置率	80%	R5年度	100%	R9年度	86.1%	86.5%	↗

○進捗状況について

- ・ 庄内・豊南町地区防災街区整備地区計画を運用し、建築物の不燃化を促進しました。令和7年度（2025年度）時点で、想定平均消失率が23%以上の地区数は、当初の6地区から5地区に減少しました。
- ・ 消防防災施設整備費補助事業を活用して、耐震性貯水槽1基を整備し、設置率は86.5%となりました。

○今後の取組みについて

- ・ 「地震時等に著しく危険な密集市街地」について、令和9年度（2027年度）までに対象地区を2地区に減少させ、令和12年度（2030年度）末までの解消をめざします。引き続き、庄内・豊南町地区防災街区整備地区計画の適切な運用を通じて、建築物の不燃化を促進します。
- ・ 耐震性貯水槽については、大規模な地震災害等により消火栓が使用できない場合に備え、令和9年度（2027年度）の設置率100%を目指して計画的に整備します。

【取組み7】土木構造物の耐震対策の推進

KPI		当初値		目標		令和6年度	令和7年度	
		数値等	年度	数値等	年度	数値等	数値等	指標達成/ 傾向
修繕が必要な橋梁数橋	横断歩道橋(9橋)	5橋修繕(累計) 1橋撤去(累計)	R5年度	8橋修繕(累計) 1橋撤去(累計)	R9年度	6橋修繕(累計) 1橋撤去(累計) (修繕が必要な橋梁9橋)	6橋修繕(累計) 1橋撤去(累計) (修繕が必要な橋梁9橋)	→
	千里地区歩路橋(12橋)	5橋修繕 (累計)	R5年度	11橋修繕 (累計)	R9年度	9橋修繕(累計) (修繕が必要な橋梁12橋)	9橋修繕(累計) (修繕が必要な橋梁12橋)	→
	道路橋(46橋)	22橋修繕 (累計)	R5年度	38橋修繕 (累計)	R9年度	32橋修繕(累計) (修繕が必要な橋梁46橋)	33橋修繕(累計) (修繕が必要な橋梁46橋)	↗

○進捗状況について

- 横断歩道橋、千里地区歩路橋については、修繕計画になかったため、令和7年度(2025年度)の修繕は実施せず、累計修繕数はそれぞれ6橋、9橋となりました。道路橋については、下高川高架橋の修繕を実施し、累計修繕数は33橋となりました。

○今後の取組みについて

- 目標達成に向け、横断歩道橋は残る2橋、千里地区歩路橋は残る2橋、道路橋は残る5橋の修繕を計画的に進めます。横断歩道橋は令和9年度(2027年度)、千里地区歩路橋は令和8年度(2026年度)、道路橋は令和11年度(2029年度)に予定している定期点検の結果を踏まえ、市計画を必要に応じて見直し、橋梁等の長寿命化を図ります。

【取組み8】ライフライン施設の災害予防対策の推進

KPI	当初値		目標		令和6年度	令和7年度	
	数値等	年度	数値等	年度	数値等	数値等	指標達成/ 傾向
水道管路耐震適合率	37.6%	R5年度	40.3%	R9年度	38.9%	40.2%	↗
配水ルート耐震化率	56.7%	R5年度	100%	R9年度	66.7%	70.0%	↗
配水小ブロック化率	89.0%	R5年度	100%	R9年度	92.0%	94.4%	↗
無電柱化推進路線の整備延長 (1,650m)	完成延長 340m	R5年度	完成延長 710m	R9年度	完成延長 340m	完成延長 460m	↗

○進捗状況について

- ・ 老朽化した水道管路の更新及び耐震化を進め、水道管路の耐震ネットワークを構築しました。
- ・ 重要給水施設への配水ルート（1ルート分）の耐震化を実施しました。
- ・ 玉井地区では、配水区域を一定の規模で分割し管理する配水小ブロック化を完了しました。
- ・ 無電柱化については、服部天神駅前広場120mの整備が完了したほか、豊中市無電柱化推進計画を改定し、コスト縮減と事業の加速化に向けた検討、市街地開発事業等における無電柱化、関係者間の連携強化及び広報・啓発活動に取り組めました。

○今後の取組みについて

- ・ 水道管路については、初期ダクタイル鋳鉄管を最優先に更新を進めるとともに、基幹管路の耐震化を計画的に進めます。
- ・ 水道施設整備計画及び上下水道耐震化計画に基づき、重要給水施設への配水ルートの耐震化を進めます。
- ・ 配水小ブロック化については、残る2地区の完成に向けて取り組みを進めます。
- ・ 無電柱化については、市計画の実施状況や取組状況をおおむね5年毎に把握・評価し、国・府の計画と整合をはかりながら、市計画の見直しと進捗管理を行います。

【取組み 9】 水害予防対策の推進

KPI	当初値		目標		令和6年度	令和7年度	
	数値等	年度	数値等	年度	数値等	数値等	指標達成/ 傾向
10年確率降雨対応整備率	10.3%	R5年度	10.6%	R9年度	10.6%	10.6%	○
処理場・ポンプ場耐水化達成率	0%	R5年度	100%	R9年度	0.0%	0.0%	→

○進捗状況について

- 令和5年度（2023年度）に着手した新免幹線第2期工事では、内径3,000mmのシールド工事を進めました。また、新千里西町及び上野西地内において、雨水管等の設置工事を実施しました。
- 庄内下水処理場、小曽根第1ポンプ場及び小曽根第2ポンプ場では、耐水化工事に着手しました。

○今後の取組みについて

- 新免幹線整備については、令和8年度（2026年度）中の完成をめざして工事を進めます。
- 豊中市下水処理場・雨水ポンプ場耐水化計画に基づき、処理場・ポンプ場の耐水化を進めます。庄内下水処理場、小曽根第1ポンプ場及び小曽根第2ポンプ場は、令和8年度（2026年度）中の完成をめざして工事を進めます。また、利倉ポンプ場及び穂積ポンプ場は令和8年度（2026年度）に耐水化工事を実施します。

【取組み10】防災体制の整備

KPI		当初値		目標		令和6年度	令和7年度	
		数値等	年度	数値等	年度	数値等	数値等	指標達成/ 傾向
各訓練実施回数	全市一斉防災訓練	1回/年	R5年度	1回/年	R9年度	1回/年	1回/年	○
	職員参集状況確認訓練	2回/年	R5年度	2回/年	R9年度	1回/年	1回/年	→
	避難所開設訓練	1回/年	R5年度	1回/年	R9年度	1回/年	1回/年	○
	新規採用職員、新任課長級職員 への災害対応研修	1回/年	R5年度	1回/年	R9年度	1回/年	1回/年	○
災害時相互支援協定の数		109件	R5年度	毎年度増加	R9年度	117件	118件	○
【再掲】耐震性貯水槽の設置率		80%	R5年度	100%	R9年度	86.1%	86.5%	↗
常備消防車両・資機材更新整備		30% (4台更新)	R5年度	100%	R9年度	46% (4台更新)	57% (3台更新)	↗

○進捗状況について

- 市役所本庁舎での災害対策本部訓練、市立学校の一般避難所での避難所開設訓練・応急給水訓練、避難行動要支援者の安否確認、防災公園での消防・警察訓練等からなる全市一斉防災訓練を実施し、職員534人、市民2,806人が参加しました。
- あわせて、リスク情報管理支援システムを活用した職員参集状況確認訓練を実施し、職員2,037人が参加しました。
- 避難所開設訓練では、各小中学校・義務教育学校の避難所開設要員が、開設及び受付等の運用を行いました。また、新規採用職員及び新任課長級職員を対象に災害対応研修を実施しました。
- 洪水・高潮避難ビルの指定や飲料水の供給に関する協定を締結しました。
- 緊急消防援助隊設備整備補助事業等により、災害対応特殊救急自動車2台・消防作業車1台を更新整備しました。

○今後の取組みについて

- 地域における避難所運営訓練を充実させるため、自主防災連絡会議等を通じて情報交換の機会を作ります。また、災害対策本部訓練では、状況付与をブラッシュアップするとともに、研修の実施などによる職員の対応力向上を図ります。安否確認については、システムを活用した訓練を全校区で実施できるよう普及・啓発を進めます。
- リスク情報管理支援システムへの職員の登録を引き続き促すとともに、各部において効果的に参集状況の確認ができる体制づくりを進めます。
- 避難所開設要員が円滑に避難所開設及び運営を行えるように、事前の研修等の実施を検討します。また、職員向け災害対応研修では、地域防災計画や避難所開設など、テーマごとの研修を充実させ、職員の災害対応力向上を図ります。
- 洪水・高潮避難ビルの指定を進めるとともに、子ども用品を扱う企業やペット同行避難に係る企業等との連携を進めます。

【取組み 1 1】災害情報網の整備

KPI	当初値		目標		令和6年度	令和7年度	
	数値等	年度	数値等	年度	数値等	数値等	指標達成/ 傾向
リスクロ登録者数	1,998人	R5年度	3,000人	R9年度	1,998人	2,990人	↗
SNSフォロワー数	88,941人	R5年度	毎年度増加	R9年度	109,556人	131,848人	○

○進捗状況について

- ・ 全市一斉防災訓練で使用するため、リスク情報管理システム（リスクロ）の運用にかかる説明会等を実施し、登録者数の拡大を図りました。登録者数は目標3,000人に対し、3,124人となり、目標を達成しました。
- ・ SNSによる情報発信については、外部専門人材から、魅力的な動画制作の具体的な手法や、発信後の効果分析等について助言を受け、発信内容や手法の改善に取り組みました。

○今後の取組みについて

- ・ リスク情報管理支援システムについては、人事異動に応じた登録・解除を適切に行い、登録情報を最新の状態に保つことで、システムの適切な運用を継続します。
- ・ 引き続き、SNSによる情報発信と発信後の効果分析を強化し、フォロワー数の増加を図ります。また、危機発生時に多様なSNS伝達手段を用いて、市民へ迅速に情報を届けられる体制の充実を図ります。

【取組み 1 2】火災予防体制の整備

KPI	当初値		目標		令和6年度	令和7年度	
	数値等	年度	数値等	年度	数値等	数値等	指標達成/ 傾向
違反是正率	66%	R5年度	100%	R9年度	68.6%	64.2%	↘

○進捗状況について

- 消防用設備の未設置・機能不良や防火管理者の未選任等の違反がある防火対象物に対し、925件の是正指導を実施しました。また、違反公表制度にもとづき、違反対象物を公表し、利用者への情報提供を行いました。
- 査察及び消防用設備等に係る集合研修を3回実施し、予防業務を担う職員の知識・技能の向上を図りました。

○今後の取組みについて

- 違反対象物への査察及び是正指導を継続し、消防法令違反の早期是正を図ります。また、違反公表制度を適切に運用し、利用者等への情報提供を行います。
- 査察、消防用設備等及び危険物に関する実務研修を継続し、予防要員の育成と火災予防体制の強化を進めます。

【取組み 1 3】災害時医療体制の整備

KPI	当初値		目標		令和6年度	令和7年度	
	数値等	年度	数値等	年度	数値等	数値等	指標達成/ 傾向
災害時における医療本部の設置・運営にかかる研修・訓練の実施（Web医療本部を含む）	1回/年	R5年度	1回/年	R9年度	1回/年	1回/年	○
HEMSとよなか登録者数	21名	R5年度	毎年度増加	R9年度	37名	45名	○

○進捗状況について

- 保健所が事務局となり、医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院連絡協議会、訪問看護ステーション連絡会、医療保健センター、市立豊中病院の代表者による災害対策作業部会を書面で開催し、各関係機関における災害時対応の取組みや、今後検討すべき事項などについて情報共有を行いました。また、「災害時の医療救護活動に関する協定」にもとづき、令和8年（2026年）1月に保健所災害対応実動訓練と連動したWeb医療本部会議運営訓練を実施しました。
- HEMSとよなかについて、市広報誌やSNS、健康情報拠点薬局でデジタルサイネージを活用して周知し、9名の新規登録がありました。また、登録者を対象に動画による災害研修を実施しました。

○今後の取組みについて

- 引き続き、災害対策作業部会において、災害時の保健医療体制に関する課題の解決に向け、関係機関と連携して取り組みます。また、医療関係機関等と連携し、災害時対応に関する研修・訓練を継続することで、災害医療体制の強化に取り組みます。
- HEMSとよなかの登録者数増加に向け、医療機関の許可申請・届出時や、医療従事者免許の受取時にリーフレットを配布するなど周知を行います。また、登録者に対して定期的に研修の案内・受講勧奨を行い、災害対応に必要な知識や技能の向上を図ります。

【取組み 1 4】避難体制の整備

KPI	当初値		目標		令和6年度	令和7年度	
	数値等	年度	数値等	年度	数値等	数値等	指標達成/ 傾向
ペット避難所指定数	1箇所	R5年度	3箇所	R9年度	1箇所	1箇所	→
図上訓練実施回数	32回	R5年度	毎年度増加	R9年度	30回	図上訓練： 30回 実地訓練： 24回	→

○進捗状況について

- ・ 全市一斉防災訓練では、庄内市民センターをペット同伴避難が可能な避難所として試行的に開設し、訓練を実施しました。当日は健康医療部保健安全課が運営し、市民4人が参加しました。
- ・ 各校区において避難支援等関係者が実施する図上訓練及び実地訓練に参加し、避難支援体制の構築を支援しました。また、これまでの紙名簿を用いた訓練に加え、一部の校区では安否確認システムを活用した訓練を実施しました。

○今後の取組みについて

- ・ 市立学校の一般避難所へのペットの同行避難を基本にしつつ、ペット同伴避難が可能な避難所の確保を複数拠点で進めます。また、ペット用品の確保やペット避難所運営に関係する事業者との連携協定の締結等を進めます。
- ・ 安否確認システムを活用した訓練を全校区に広げ、災害時に円滑に安否確認を行える体制の整備を進めます。

【取組み15】要配慮者支援体制の整備

KPI	当初値		目標		令和6年度	令和7年度	
	数値等	年度	数値等	年度	数値等	数値等	指標達成/ 傾向
福祉避難所の充足率	95%	R5年度	100%	R9年度	95%	95%	→
地域支援者等協定団体数	100団体	R5年度	毎年度増加	R9年度	100団体	102団体	○
【再掲】生活関連経路の整備地区	完成地区 0地区	R5年度	完成地区 2地区	R9年度	0地区	0地区	→

○進捗状況について

- ・ 要配慮者を円滑に福祉避難所へつなぐための取組みとして、福祉避難所での避難訓練の実施しました。
- ・ 避難行動要支援者名簿の保有及び災害時の安否確認への協力を目的として、地域団体等と協定を締結しました。

○今後の取組みについて

- ・ 福祉避難所における受入体制を充実させるため、各福祉避難所への備蓄物資の配備を進めます。
- ・ 避難行動要支援者名簿管理システムや安否確認システムを活用した訓練を実施し、効果的・効率的に避難行動要支援者の安否を確認できる体制を整えます。

【取組み16】非常用物資の確保体制の整備

KPI	当初値		目標		令和6年度	令和7年度	
	数値等	年度	数値等	年度	数値等	数値等	指標達成/ 傾向
組立式仮設給水タンク（1m ³ ）	22基	R5年度	38基以上	R9年度	30基	38基	○
飲料水の必要数に対する確保割合	100%	R5年度	維持	R9年度	100%	100%	○
備蓄スペースの確保件数	16箇所	R5年度	毎年度増加	R9年度	22箇所	66箇所	○

○進捗状況について

- ・ 克明小学校ほか7校に組立式仮設給水タンクを配備し、全小学校及び義務教育学校への配備を完了しました。
- ・ 飲料水の確保割合は目標を上回る102%となっています。今後は消費期限を迎えるものを順次更新します。
- ・ 走井緩衝緑地帯に備蓄倉庫を設置するとともに、豊中ローズ球場など、新たに5か所の備蓄スペースを確保しました。

○今後の取組みについて

- ・ 地域団体等が組立式仮設給水タンクを円滑に設置・使用できるよう、地域の防災訓練やイベント、出前講座等を通じて、取扱方法の周知や訓練を進めます。
- ・ 大阪府の備蓄方針の見直し等により備蓄水の追加確保が必要となる場合に備え、さらなる保管場所の確保を進めます。
- ・ 備蓄物資の保管スペースの占有率が非常に高く、新たな備蓄物資の保管場所が限られていることから、移動式コンテナの活用など新たな方法も含め、必要な物資を確実に保管・管理できるスペースの確保を進めます。

【取組み 17】地震防災緊急事業5年計画の推進

KPI	当初値		目標		令和6年度	令和7年度
	数値等	年度	数値等	年度	数値等	
設定なし	—	—	—	—	—	定性評価

※本取組みはKPIが設定されていないため、取組みの実施状況を定性的に確認しています。

○進捗状況について

- ・大阪府の「第6次地震防災緊急事業5箇年計画」に位置付けられた市の対象事業について、各所管部局において取組みを進めました。

○今後の取組みについて

- ・豊中市第2期強靱化地域計画の進捗確認を通じ、関係部局と進捗状況や課題を共有し、各事業の取組みを着実に推進します。